

## 生物多様性の保全に向けて

# 自然の恵みをお届けする企業として、 生物多様性の保全に貢献する取り組みを行っています

関連情報をホームページで  
ご覧いただけます。 **参考**

●サントリー愛鳥キャンペーン  
<http://www.suntory.co.jp/eco/birds/>

私たちの経営資源である自然環境は、生物多様性によって維持されています。

こうした認識に立ち、サントリーでは1973年より始めた「愛鳥キャンペーン」をはじめ、各生産工場でのエリア特性をふまえた動植物の保全など、さまざまなかたちで生物多様性の保全に貢献する取り組みを行っています。



### 野鳥保護を通じた自然保護活動 「愛鳥キャンペーン」を行っています

サントリーは1973年に野鳥の保護を通じて自然保護活動に取り組む、「愛鳥キャンペーン」を開始しました。同年には民間企業として初の「バードサンクチュアリ(野鳥の聖域)」を白州蒸溜所に開園し、探鳥会や巣箱掛けなどの愛鳥活動を行っています。また絶滅の危機にあるアホウドリの復活を支援する募金活動、野鳥保護の啓発リーフレットの制作・販売など、さまざまな活動を展開しています。1990年には公益信託「サントリー世界愛鳥基金」を創設し、国内外の鳥類保護団体の活動に関する助成を行い、大きな成果をあげています。



啓発リーフレット



白州蒸溜所のバードサンクチュアリでの巣箱掛け

### 工場でもさまざまな 取り組みを行っています

#### 緑の国勢調査～登美の丘ワイナリー

山林を含めて約150haの広大な敷地をもつ自家ぶどう園 登美の丘ワイナリーには国蝶のオムラサキをはじめ、キツネ、トビ、キキョウなどさまざまな動植物が生息しています。ワイナリーでは、全社員が参加して、環境省の方法に準じてこれらの動植物の生息状況を観察する「緑の国勢調査」を毎年行っています。また、桜の植樹や、昆虫の餌となるエノキ、クヌギの植林などを行い、自然と触れ合いながら動植物の生息環境の保全に取り組んでいます。

**Web** より詳細な情報をご覧いただけます。  
<http://www.suntory.co.jp/company/csr/2007/site/index.html>  
サイトレポート「登美の丘ワイナリー」

#### 絶滅危惧種の保全～山崎蒸溜所

山崎蒸溜所では、地元にある「乙訓(おとくに)自然を守る会」と連携し、工場内で絶滅危惧種に指定されている「カリガネソウ」(希少植物)や「トモエソウ」「シマカンギク」などの植物を栽培・育成しています。



カリガネソウ